

令和3年度事業報告書

特定非営利活動法人わんぱくクラブ

理事長 守屋 季代子

電話 048-711-4050

1.事業の成果、報告

緊急事態宣言が繰り返される中、ワクチン接種も進み、ようやく新型コロナウイルスとの共生という方向性が見えてきました。とはいえ学校、保育園、併用事業所、家庭と感染が広がり、利用者だけでなく職員も出勤できない等、多方面への影響が見られた1年でした。

デイズは利用者増により安定した利用が続き今年度も収益が大きく伸びました。放課後は学級閉鎖や学年閉鎖により自宅で過ごさなければならない利用者に電話での支援を行うなど工夫を重ね対応しました。アフターは浦和大学とのアートコラボレーションに代わる企画として個々に1年を通して取り組める制作を行い大作、力作が出来上がりました。キッズは低学年だけでなく高学年での中途利用者を獲得できました。「ここでなければ」と選んでくださる保護者が多く期待に沿える様きめ細かな支援を行っています。児童発達はポータジブプログラムやペアレントトレーニングが好評で昨年以上に提供回数を増やせました。アシスト・サポートはコロナ以前と同じような社会参加型の支援はできませんが、できる限り家族に寄り添う支援をと内容を考え、提供時間数は戻りつつあります。各事業所ともに運転手不足が課題です。

各事業所とも感染防止に力を入れてはいましたが、保健所とのやり取りの中で、食事提供中や送迎車内での対策の甘さを指摘され改善を行いました。

2.事業の実施に関する事項（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（1）特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス	生活介護	毎日 (土日祝を除く)	施設、他	21名	定員20名	42,095
	行動援護・居宅介護及び地域生活支援事業(移動支援)	随時	さいたま市内	32名	児童・知的障害者50名	17,543
児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	児童発達支援及び放課後等デイサービス	毎日 (土日祝を除く)	施設、他	23名	障害児定員10名 15名 各1か所	51,820
障害児(者)生活サポート事業	障害児・者の一時預かり事業、その他	随時	さいたま市内	28名	知的障害児・者利用会員 20名	228
福祉有償運送事業	利用会員に対する移送サービス	随時	さいたま市内	19名	知的障害児・者利用会員 20名	85